



外務省
MOFA Japan

海賊等対策に係る海上法執行能力向上研修プログラム (ASEAN全10か国が参加)



狙い／意義

- ASEAN設立50周年に際し、海賊・海上武装強盗に対処するASEAN各国の海上法執行機関の能力を向上させ、地域の連携・協力関係の更なる強化を目指す。

日程

- 研修期間： シンガポール日程 2017年9月26日(火)～9月30日(土)
日本日程 9月30日(土)～10月7日(土)(東京, 神奈川, 広島)

シンガポール日程

- ーアジア海賊対策協定(ReCAAP)情報共有センター, 星沿岸警備隊, 星海事港湾庁(MPA), 星船主協会, 比沿岸警備隊, 比海軍, 豪海上警備コマンド, 米沿岸警備隊, 海洋法学者による講義
- ー情報フュージョンセンター(IFC), シンガポール港湾施設の視察等

日本日程

- ー外務省, 防衛省, 海上保安庁職員による講義
- ー海上保安庁関連施設の視察(横浜の第三管区本部, 横浜海上防災基地, 羽田航空基地, 広島・呉の海上保安大学校での講義等含む)
- ー船主協会との意見交換等

概要

- 海賊等対策を行うASEAN全10か国の海上法執行機関担当官等を対象。
- 日本の海賊対策に関する理解向上, 研修参加者のネットワーク化も目指す。

実施協力団体

- 国外: ReCAAP情報共有センター *黒木事務局長も研修参加
- 国内: 海上保安庁, 防衛省

